

# 日本数学会教育委員会からの報告

## 【教育委員会】

日時：2020.9.25 13:30～15:30

場所：Zoom 開催

出席：14名

議事の概要は以下のとおりである。

### 1. 日本学術会議第24期数学教育部会提言について：

日本学術会議第24期数理科学委員会数学教育分科会より「新学習指導要領下での算数・数学教育の円滑な実施に向けた緊急提言：統計教育の実効性の向上に焦点を当てて」と題する令和2年8月4日付の提言が公開された。この提言に関して、同分科会委員長でもある真島委員から解説があった。

「統計教育の実効性の向上に焦点を当てて」とあるものの、基礎教育の一環として数学教育の充実について書かれているものであることが説明された。

提言の中には令和7年度からの大学入学共通テストの科目に関する提言や、各大学の個別入試に関するものも含まれている。令和3年には高校側から教育委員会へ次期学習指導要領下での教育課程を報告する必要があるため、各大学はそれに間に合うように準備を進めることが必要となる。そのため、数学通信25巻3号や学会HPなどでアナウンスすることが決定した。その上で、25巻4号で提言の詳細記事を載せることも決定された。

### 2. 次回の教育シンポジウムについて：

次回の学会はオンラインで開催することが決まっているが、教育委員会シンポジウムを開催したいことが委員長から提案され、承認された。

内容としては、前項の日本学術会議提言と2021年1月に初めて実施される大学入学共通テストについての話題とで構成して、「2020年代の数学教育（特に高大連携）」というタイトルで行いたい旨、委員長から提案があった。審議の末この案が承認され、提言に関してはお茶の水大学名誉教授の真島秀行氏、大学入学共通テストに関しては、大学入試センター 試験・研究統括官の天津起夫氏に依頼することが決まった。日程については、委員長が関係各所と調整の上決定することで承認された。

その後、理事会から Zoom での開催が承認され、講演者との調整を経て 2021 年 3 月 15 日の 14 時から 16 時半に、オンラインにて真島氏と大津氏の講演を中心にした教育シンポジウム「2020 年代の数学教育の方向性－高大接続を中心に－」の開催が決定した。

### 3. その他：

コロナ禍でのオンライン授業について情報交換を行った。途中で何度か課題を提出しないと先に進めない動画を作成した委員からの情報共有があった。オンラインの方が理解が進んでいるのではないかという声もあり、それに同意する委員もいた。

文責 教育委員会委員長 牛瀧文宏